



# 10回目 総額100万円に

「名無しのごんべ」は石鍋さん

国内外の心臓病の子供を 京都足立区の無職男性(88) 救う「明美ちゃん基金」(産 金100万円を寄託 経新聞社提唱)へ11日、東 した。男性は平成24年3月

「明美ちゃん基金」への振り込みは、みずほ銀行東京中央支店(店番号110)普通口座567941「産経新聞社会部明美ちゃん基金」。郵送の場合は、現金書留で〒100-8077 産経新聞東京本社社会部「明美ちゃん基金」。

に東京・大手町の産経新聞社を訪れて100万円を置いていって以降、断続的に寄託しており、今回で10回目。男性が基金に寄せた総額は1千万円となった。

男性はこれまで「名無しのごんべ」と名乗ってきたが、10回目となる節目に初めて「石鍋」という名字のみ明かした。石鍋さんはこれまで匿名を希望。今回も「(基金には)お医者さんの力がまず第一。そしてお

医者さんに頼るお子さんやご両親に喜んでいただければ、それでいいと思っていますから」と説明した。50年来の購読者で、基金の設立のきっかけになった心臓病の少女、伊瀬知(現・松本)明美さんの記事な

ども読んでいた。「自分も余裕ができたら寄託したい」。そう考えつつ、日々の生活に追われてままたまなかったが、平成24年、産経新聞に載っていた基金の記事に偶然目が留まった。これをきっかけに「投資から得た配当金を寄託しよう」と決意。来社して「名無しのごんべ」を名乗ったのは「現金書留や振り込みでは名前が出てしまう」と考えたからという。

「大きなことではない」と石鍋さん。「足腰も

あまり良くないので、歩けそうだったらまた来るかもしれない。その時は「ごんべ」さんで来ますから」と笑顔で話した。